

最終更新日

2023年 4月 17日

氏名

内田悠貴

障害名
(診断名)

広汎性発達障害

1 職務経験（これまで職場や、福祉サービス事業所などで経験した職務または作業とその期間を記入（受障前のもも含む））

日本アイ・ビー・エム株式会社 インターンシップ(2019年3月～2019年9月)
日本アイ・ビー・エムのインターンシッププログラム「Access Blue Program」では、仮想クライアント提案プロジェクトやアプリケーション開発プロジェクトのカリキュラムを通して、意見がぶつかるメンバーの間をコントロールするなど少人数チームでの協業を経験した。
日本IBMの実際のビジネス部門でOJTを体験し、人事ラーニング部署で新入社員研修の進捗レポート作成などを行い、社内を対象とした仕事への適性を見出した。
日本アイ・ビー・エム株式会社 人事ダイバーシティ ビジネス・コンシェルジュ・サービス(2020年2月～)
人事ダイバーシティ部門のビジネス・コンシェルジュ・サービスにて、日本アイ・ビー・エムのインターンシッププログラム「Access Blue Program」における、聴覚障害者への情報保証になる音声文字入力システム「AI Minutes」に反映される文字情報の編集作業に携わる。また、部署内の会議に用いる「AI Minutes」の音声認識システムの社内セットアップ手順書とは別の平易な方法を用いてチーム内のセットアップを導いた。OSSのアップデートに応じた対応も行った。
2022年、2023年のAccess Blue Programに係るPCセットアップ業務を行った。他の方が作成した手順に則って、インターンシップ上で必要なコミュニケーションツールやオンライン会議ツールのセットアップを行った。
人事バックオフィス関連業務として、胡蝶蘭発注代行業務と自治体への申請書の入力サポート、人事関連書類の捺印処理業務を経験した。
また、入社手続き書類の管理を行うために4年分の入社書類の仕分け業務をマニュアル作成段階から主導した。業務を担当する他のメンバーと確認しながら作業マニュアルを更新していった。期限の約6週間前には完了できた。

2 仕事上のアピールポイント（職場などでできていた（できている）ことや自分の強みが発揮できそうな職種・作業内容、培ってきたスキルを記入）

PC上にインストールするツールなどの利用に早く馴染む事、ターミナルを利用するなどの技術的な内容には対応できないが、外部のウェブサイトを参照したり、自身のトライアンドエラーを通じて業務に必要なソフトウェアを使う上でのトラブルシューティングができる。
ターミナルを用いたスクリプトのインストールなど、手順書に則ってインストールできる事。
実際の作業を想像しながらの作業マニュアル作成と柔軟なマニュアル変更。

野球・ラグビー・サッカー・相撲、レッドブル・エアレース、スケートボード、ブレイキン、ダイヤモンド富士、皆既月食、金環日食、部分日食、新規開業施設、名所を撮影してきた。撮影で使ったカメラはコンパクトデジタルカメラ(レンズ一体型カメラ)になる。
写真ギャラリー: <https://ruindig.github.io/pages/photo-gallery-1>
動画ギャラリー: <https://ruindig.github.io/pages/video>

3 体調管理と希望する働き方

	自分の特徴	※該当するものに☑（複数選択可）
ストレス・疲労	ストレスなどを感じやすい状況・場面 ※特に調子を崩すきっかけとなるものを記入	在宅勤務で会議の直前まで作業をした後、切り替えて会議に臨もうとすると突然の眠気に襲われた。 集中して作業した後、あるいは長くPCに向かっている内に、自分でも予兆に気づかない内に寝落ちてしまう。
	ストレスなどのサイン	
	対処方法	○自分で取り組むこと 会議の直前までかかる作業はしないようにしている。30分～1時間の間が置けるようにしている。意識的に席を立つなど工夫をしている。 ○配慮してほしいこと
通院のための休暇	<input checked="" type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり（頻度・曜日・時間帯 → ）	
服薬管理のための配慮 ※服薬ありの場合に記入	<input checked="" type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり ※具体的内容→	